



TOP 30th Anniversary

Luigi Ghirri

Infinite Landscapes

総合開館30周年記念

ルイジ・ギッリ 終わらない風景

2025.7.3|木|－9.28|日| 東京都写真美術館 2階展示室 恵比寿ガーデンプレイス内

主催：東京都写真美術館 後援：駐日イタリア大使館 助成：公益財団法人ポーラ美術振興財団 協賛：東京都写真美術館支援会員 休館日：毎週月曜日 *ただし月曜日が祝日の場合開館、翌平日休館。

開館時間：10:00-18:00(木・金は20:00まで) *8月14日-9月26日までの木・金曜日は21:00まで開館 *入館は閉館の30分前まで 料金：一般800(640)円 / 学生640(510)円 / 高校生・65歳以上400(320)円

* ()は有料入場者20名以上の団体、当館映画鑑賞券提示者、各種カード会員割引料金 *各種割引の詳細はご利用案内をご参照ください。 / 中学生以下、および障害者手帳をお持ちの方とその介護者(2名まで)、TOPMUSEUM PASSPORT 2025提示者は無料 / 8月14日-9月26日までの木・金曜日17:00-21:00はサマーナイトミュージアム割引(学生・高校生無料、一般・65歳以上は団体料金。

学生証・年齢が確認できるものをご提示ください。) / 第3水曜日は65歳以上無料 *各種割引の併用はできません。

ルイジ・ギッリ 《ボローニャ、1989-90》(ジョルジョ・モランディのアトリエ) 1989-90年 東京都写真美術館蔵 © Heirs of Luigi Ghirri



Ambasciata d'Italia
Tokyo

ポーラ美術振興財団
POLA ART FOUNDATION

TOPMUSEUM



1



2



3



4



5



6

総合開館30周年記念

ルイジ・ギッリ 終わらない風景

このたび東京都写真美術館では、総合開館30周年を記念して、イタリアを代表する写真家ルイジ・ギッリ（1943–1992）の個展を開催いたします。

ギッリは測量技師としてのキャリアを積んだのち、コンセプチュアル・アーティストたちとの出会いをきっかけに、1970年代から本格的に写真家として活動を始めました。

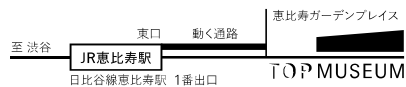
ギッリにとって写真とは、現実世界の複製ではなく、フレーミングされた「見られた」視覚的断片によって風景を作り出すための表現手段でした。彼はこの表現手段を通じて、通り過ぎる風景の中に現実とイメージの関係性を見出し、「在」と「不在」、外的世界と内的世界について思索を深めようとしたのです。

本展では、1970年代から晩年にかけてギッリが撮影したイタリアや旅先での風景、アーティストのスタジオ、自宅の室内、美術品、看板やポスター、窓や鏡に映る風景など、多様な視覚的断片によって構成された風景表現をご紹介します。あわせて、ギッリの活動を語るうえで欠かせない存在であり、自身もグラフィック・デザイナーとして活動した妻、パオラ・ボルゴンゾーニ（1954–2011）の作品や資料も展示し、約20年にわたるギッリの写真に対する多角的な思索をたどります。ギッリが探求し続けた、終わりのない風景に対する解釈とその世界観に触れる機会となりましたら幸いです。

ルイジ・ギッリ | Luigi Ghirri (1943–1992)

イタリアのレッジョ・エミリア県スカンディアアーノ生まれ。1970年代より本格的に写真制作に取り組む。色彩、空間、光に対する類まれな美的感覚と、ありふれたものをユーモラスに視覚化する才能によって、主にカラー写真による実験的な写真表現を探索してきた。また制作活動のみならず、写真専門の出版社「Punto e Virgola（プント・エ・ヴィルゴラ）」を仲間たちと共に立ち上げ、さらにプロジェクト大学で写真理論に関する講義を行うなど、多岐にわたる活動を展開した。

東京都写真美術館
TOKYO PHOTOGRAPHIC ART MUSEUM



1. 《ルイジとパオラ ポートレート、1989》1989年 2. 《グロステ山小屋、1983》〈イタリアの風景〉より1983年 3. 《モデナ、1970》〈初期作品〉より1970年 4. 《モデナ、1978》〈静物〉より1978年 5. 《カプリ、1981》〈イタリアの風景〉より1981年 6. 《プラーイエス、1979》〈F11、1/125、自然光〉より1979年 図版すべて © Heirs of Luigi Ghirri

1. シンポジウム

■ 7月5日(土) 14:00–16:00

ゲスト：アデーレ・ギッリ（ルイジ・ギッリ財団代表）

イラリア・カンビオーリ（レッジョ・エミリア市立博物館キュレーター）

会場：東京都写真美術館1階ホール

定員：190名（整理番号順入場／自由席）入場料：無料／要入場整理券

*当日10時より1階受付にて整理券を配布します *伊日通訳付き

2. ドキュメンタリー映画『Infinito』上映とゲストによるアフタートーク

■ 7月18日(金) 17:00–19:30

ゲスト：イラリア・カンビオーリ（レッジョ・エミリア市立博物館キュレーター）

*伊日通訳付き

■ 8月24日(日) 14:00–16:30

ゲスト：岡田温司（京都大学名誉教授）

■ 9月12日(金) 17:00–19:30

ゲスト：森岡督行（森岡書店代表）

会場：東京都写真美術館1階ホール

定員：190名（整理番号順入場／自由席）入場料：無料／要入場整理券

*当日10時より1階受付にて整理券を配布します *本邦初公開、日本語字幕付き

3. 担当学芸員によるギャラリートーク

■ 7月11日(金) 14:00

■ 8月 1日(金) 14:00 *手話通訳付き

■ 9月 5日(金) 14:00 *手話通訳付き

担当学芸員による展示解説を行います。

当日有効の本展チケットまたは展覧会無料対象者の方は各種証明書等をご持参のうえ、2階展示室入口にお集まりください。

〒153-0062 東京都目黒区三田1-13-3 恵比寿ガーデンプレイス内

Tel. 03-3280-0099 www.topmuseum.jp

JR恵比寿駅東口より徒歩約7分、東京メトロ日比谷線恵比寿駅より徒歩約10分

当館には駐車場はありません。近隣の有料駐車場をご利用ください。

※事業はやむを得ない事情で変更することがございます。